

資格取得めざし 50 名が受講

大阪で登録鉄筋基幹技能者講習を開催

関西鉄筋工業協同組合（岩田正吾理事長）は 10 月 18 日～20 日の 3 日間、大阪市中央区のエル・おおさかで「第 38 回登録鉄筋基幹技能者講習」を実施しました。国土交通省の認定機関である全国鉄筋工事業協会（全鉄筋、内山聖会長）が主催し実施しているもので、今回は組合会員企業の職長らを中心に 50 名が受講し、登録鉄筋基幹技能者の資格取得をめざしました。この講習の受講資格は▽1 級技能士資格を保有▽「職長教育」及び「安全衛生責任者教育」または「職長・安全衛生責任者教育」の講習修了証を保有▽10 年以上の現場施工経験がある▽3 年以上の職長経験がある一のすべてを満たす者です。

初日の 18 日には岩田理事長も受講者の激励に訪れ、開講式で「行政や発注者は優秀な職人の育成に強い関心を持っており、私たちも業界をあげて登録基幹技能者にインセンティブを与えるような発注を要望している。鉄筋業界は今後も必ず皆さんのためになるように行動していく。皆さんも自らのスキルアップと考えて受講してほしい」と挨拶しました。

3 日間の講習では、伊藤英章氏（伊藤鉄筋工業社長）、馬籠良英氏（幹建築設計事務所社長）、長木鉄次氏（長木鉄筋社長）、恵谷信氏（恵谷鉄筋社長）、田村晃一氏（田村工業専務）がそれぞれ講師を務め、▽基幹技能者制度▽関連法規▽施工管理▽品質管理▽資材管理▽事務管理▽原価管理▽工程管理▽安全管理▽O J T▽鉄筋工事に関する情報一の各項目について講義しました。また、最終日には修了試験が行われ、後日に開催される審査委員会で合格者が決定することになります。

今年 6 月末時点の登録鉄筋基幹技能者は全国で 2059 名。このうち関西では大阪 217 名、京都 6 名、兵庫 64 名、奈良 7 名、和歌山 5 名となっています

